

# 美術部へようこそ! ● 愛知県瀬戸市立品野中学校

地元の特色を生かした作品づくりに取り組み、地域との交流を大切にしている美術部取材しました。

## 日常的に作陶に励む

粘土の塊が、みるみる壺の形になっていく。睨みを利かせる壺、ほほえむ壺、眠たそうな壺——。顔の模様を施した大きな壺は、どれも個性たっぷり。しかし、その壺に向き合う部員の表情は、みな一様に真剣そのものだ。

瀬戸市立品野中学校の美術窯業部は、週前半はポスターや看板制作といった活動を行い、週後半は校内にある「窯業室」で作陶に励んでいる。校舎一階角にある窯業室には、ろくろや釉薬、土練り機のほか、焼成する窯まで置かれ、焼き物づくりに関するほぼすべての工程を校内で行える設備が整う。

また、同校ではPTAが「つくろう会」を組織しており、焼き物づくりを楽しむほか、美術窯業部の活動を後押ししている。

## 「せともの祭」で販売も

瀬戸市は、1000年以上の歴史をもつ、日本屈指の窯業地。「日本六古窯」(※)にも数えられ、陶磁器の代名詞でもある「せともの」という言葉は、同市の地名に由来する。陶土が豊富に産出されることから窯業が発展し、今も市内には、窯元や製陶メーカーが軒を連ねる。

そんな瀬戸が最もにぎわうのが、毎年9月に開かれる「せともの祭」だ。市中心部に問屋や窯元など約200軒が出店し、陶磁器を販売する。同校の美術窯業部は毎年、同祭の「道の駅瀬戸しなの会場」にブースを出展し、部員自ら店頭に立って手作りの置物や鉢などを販売している。



「美術は相手があってのもの。多くの方に見ていただき、自分の作品が認められることは、子どもたちにとってすごく貴重な経験になる」と話すのは、顧問の清水智徳先生。金銭のやり取りが生まれることで責任感も増し、制作にも力が入る。売り上げは陶土や釉薬の購入に充てられ、来年に向けての制作活動につなげている。

## うまさより、心を込めて

現在の部員は20人程度。基本的に、土練りや施釉、焼成といった作業は先生が行い、部員たちは成形や絵付けを中心にやっている。作業中は心地よい緊張感に包まれつつも、時折部員どうしで相談しながら制作を進めるなど、明るい雰囲気だ。部長の高島瑠華さんは、「学年を超えて仲が良く、みんな個性的なので作品を



見ていて楽しい」と語る。

基礎的な技術の習得はもちろん大切だが、清水先生が重視するのは「小手先のうまさではなく、心を込めて、見る人の目線になってものを作る」こと。その経験は、今後も必ず生きることだろう。

※中世から現在まで生産が続く、国内で代表的な六つの陶磁器生産地(越前・瀬戸・常滑・信楽・丹波・備前)の総称

左／手にしている高さ30～40cmの壺には、「黄瀬戸」や「志野」といった瀬戸の伝統的な釉薬が掛けられている。焼成室には、ガス窯1基と電気窯2基がある。



上・左下／壺に模様を施すときの表情は、真剣そのもの。



窯業室の隅に置かれているさまざまな釉薬。

# 教室を飛びだして

## 「大地の芸術祭」教育旅行プログラム

新潟県越後妻有地域を舞台に、2000年から続く「大地の芸術祭」。その豊かな資源を活用した「教育旅行プログラム」を紹介します。

新潟県十日町市と津南町を舞台に開かれる国際芸術祭「大地の芸術祭」では、アートを通じた地域づくりなどについて学ぶ「教育旅行プログラム」を展開している。小中高の修学旅行や「総合的な学習の時間」などで活用されており、2021年度は全国から約70校が訪れた。

窓口は同祭を共催する「NPO法人越後妻有里山協働機構」。同祭は通年で約200点もの作品を常設しており、毎年教育旅行を受け入れてきた。取り組みが始まったのは2020年。

当初は、新型コロナウイルスの影響で県外旅行が難しくなった地元の学校に向けて、「これを機に地元の魅力を再発見してもらいたい」という思いでスタートした。その後、徐々に県外の学校からの問い合わせも増

えてきたという。2022年4月、同祭の開幕に合わせ、教育旅行の受け入れも本格化。7月8日には、十日町市の中学1年生49人が「ふるさと学習」の一環で会場を訪れた。

会場の一つ「まつだい『農舞台』」では、生徒たちは青々と茂った棚田を歩きながら、野外に点在する作品を順番に鑑賞。地域ボランティアのガイドを聞きながら、タブレット端末で写真を撮ったり、体験型の作品を五感で感じたりと、和気あいあいと作品巡りを楽しんでいた。

同NPOの佐藤あゆさんは、「作品を単体で鑑賞するだけでなく、里山の風景や自然も含めて体感してもらうことで、文化の豊かさを深く感じてもらえたら」と話している。



野外に展示された作品を鑑賞し、タブレット端末で撮影する生徒たち。  
※作品は「リバース・シティー」パスカル・マルティン・タイユー

放課後  
第21回  
ART